

令和7年度

広島県公立高等学校入学者選抜実施内容シート
【定員等入り】

(令和6年11月15日更新)

広島県教育委員会
広島市教育委員会
呉市教育委員会
尾道市教育委員会
福山市教育委員会

目次

地区	高等学校名	ページ		
【全日制課程(本校)】				
		一次	二次	
中区	広島国泰寺	1	114	
	広島市立基町	3	116	
	広島市立舟入	5	118	
	広島商業	7	120	
東区	広島市立広島商業	8	121	
南区	広島皆実	9	122	
	広島工業	12	125	
	広島市立広島工業	17	130	
西区	広島井口	18	131	
	広島観音	19	132	
安佐南区	安古市	20	133	
	安西	21	134	
	祇園北	22	135	
	広島市立沼田	24	137	
	可部	26	139	
安佐北区	高陽	27	140	
	高陽東	28	141	
	安芸南	29	142	
安芸区	安芸南	29	142	
佐伯区	五日市	30	143	
	湯来南	31	144	
呉市	広島市立美鈴が丘	32	145	
	広	33	146	
	呉宮原	34	147	
	呉三津田	35	148	
	音戸	36	149	
	呉工業	37	150	
	呉商業	39	152	
	呉市立呉	40	153	
	竹原市	竹原	41	154
		忠海	43	156
三原市	三原	44	157	
	三原東	45	158	
	総合技術	46	159	
	尾道市	尾道東	47	160
	御調	49	162	
	瀬戸田	50	163	
	尾道商業	51	164	
	尾道北	52	165	
	因島	53	166	
福山市	福山葦陽	54	167	
	沼南	55	168	
	大門	57	170	
	福山明王台	59	172	
	神辺旭	60	173	
	福山工業	62	175	
	福山商業	67	180	
	福山誠之館	68	181	
	松永	69	182	
	神辺	70	183	
	戸手	71	184	

地区	高等学校名	ページ	
		一次	二次
府中市	府中	72	185
	上下	73	186
府中東	府中東	74	187
	三次青陵	78	191
三次市	日彰館	77	190
庄原市	庄原格致	79	192
	東城	81	194
西城紫水	西城紫水	82	195
	庄原実業	83	196
大竹市	大竹	84	197
東広島市	賀茂	85	198
	賀茂北	86	199
黒瀬	黒瀬	87	200
	河内	89	202
豊田	豊田	90	203
	西条農業	91	204
廿日市市	廿日市	92	205
	佐伯	93	206
廿日市西	廿日市西	94	207
	宮島工業	95	208
安芸高田市	吉田	96	209
向原	向原	98	211
	江田島市	大柿	99
府中町	安芸府中	100	213
海田町	海田	102	215
熊野町	熊野	104	217
安芸太田町	加計	105	218
北広島町	千代田	106	219
大崎上島町	大崎海星	107	220
世羅町	世羅	108	221
神石高原町	油木	111	224
【全日制課程(分校)】			
		一次	二次
北広島町	加計・芸北	113	226
【全日制課程(併設型高等学校)】			
		一次	二次
福山市	福山市立福山	227	230
三次市	三次	228	231
東広島市	広島	229	232
【全日制課程(連携型選抜*)】			
安芸太田町	加計	233	
尾道市	御調	234	
東広島市	賀茂北	235	
神石高原町	油木	236	
北広島町	加計・芸北	238	

地区	高等学校名	ページ	
		一次	二次
【定時制課程】			
安佐北区	可部	239	255
呉市	呉工業	240	256
三原市	三原	242	258
尾道市	広島県尾道南	243	259
	因島	244	260
福山市	福山誠之館	245	261
	福山葦陽	246	262
	松永	247	263
	芦品まなび学園	248	264
	福山工業	249	265
三次市	三次	251	267
東広島市	賀茂	252	268
廿日市市	廿日市	253	269
	宮島工業	254	270
【通信制課程】			
福山市	東	271	
【フレキシブル課程】			
		一次	二次
中区	広島市立広島みらい創生	272	274
【実施内容一覧表】			
	表の見方	276	
	実施内容一覧表	278	
<様式について>			
○様式第1号の1			
一次選抜			
○様式第1号の2			
二次選抜			
○様式第2号の1			
一次選抜(連携型高等学校)			
○様式第2号の2			
二次選抜(連携型高等学校)			
○様式第2号の3			
連携型選抜*			
○様式第3号の1			
一次選抜(併設型高等学校)			
○様式第3号の2			
二次選抜(併設型高等学校)			
○様式第4号			
通信制の課程の選抜			
※連携型選抜とは、連携型中高一貫教育に関する選抜のことです。			

令和7年度入学者選抜の概要

高等学校全日制課程

高等学校定時制課程 高等学校フレキシブル課程

併設型高等学校

選抜日程（2月26日～2月28日）

【検査内容】

- 一般学力検査（5教科）
 - 自己表現
 - 学校独自検査
- 学校によっては、面接・作文・小論文・実技検査・自校作成問題による学力検査等の学校独自検査を行います。

【検査内容】

- 学力検査
（自校作成問題による国・数・英の3教科）
- 自己表現
- 学校独自検査

【検査内容】

- 一般学力検査
（原則5教科※）
 - 自己表現
 - 学校独自検査
- ※ 外国人生徒等の特別措置の対象者は国・数・英の3教科及び作文・面接

【合格者の決定】

学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の結果を総合的に判断して決定します。
なお、特色枠による選抜を実施した学科・コースにおいては、特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定します。



<特色枠による選抜>

- ・ 学科・コースの特色が出る内容で実施する選抜方式
- ・ 入学定員の50%以内で合格者を決定
- ・ 特色枠による選抜を実施しない学科もあります。

<一般枠による選抜>

- ・ 全ての学科・コースで統一して実施する選抜方式
- ・ 入学定員の50%以上の合格者を決定

選抜日程（フレキシブルは3月24日）
（3月18日）

【検査内容】

- 自己表現
- 学校独自検査

【合格者の決定】

調査書、自己表現及び学校独自検査の結果を総合的に判断して決定します。

一次選抜

二次選抜（入学定員に満たない場合に実施）

帰国生徒及び外国人生徒等を対象にした選抜です。(下表①)

連携型中学校の生徒を対象にした連携型高等学校における選抜です。(下表②)

高等学校全日制課程
帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜

連携型高等学校
連携型中高一貫教育に関する選抜

高等学校通信制課程

- 【検査内容】
- 学力検査（国・数・英）
 - 自己表現
 - 作文・面接*
 - 学校独自検査
- ※ 併設型高等学校は面接

- 【検査内容】
- 自己表現
 - 学校独自検査

- 【検査内容】
- 自己表現
 - 学校独自検査

選抜日程：
2月26日～2月28日

選抜日程：
2月27日～2月28日

選抜日程：
校長が別に定めます

【合格者の決定】
 学力検査、自己表現、作文、面接及び学校独自検査の結果並びに出願書類に基づいて総合的に判断して決定します。

【合格者の決定】
 中高連携した学習のまとめ、調査書、自己表現及び学校独自検査の結果によって総合的に判断して決定します。

【合格者の決定】
 出願書類、自己表現及び学校独自検査の結果を総合的に判断して決定します。

選抜	①帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜	②連携型中高一貫教育に関する選抜												
定員	入学定員外で各高等学校2人以内	入学定員の範囲内で、高等学校長が定めます												
出願資格	<p><帰国生徒> 日本国籍等で高等学校入学資格を有し、次のaからdまでのいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> a 海外在住期間が2年以上3年未満で、帰国後の期間が1年以内の者 b 海外在住期間が3年以上4年未満で、帰国後の期間が2年以内の者 c 海外在住期間が4年以上9年未満で、帰国後の期間が3年以内の者 d 海外在住期間が9年以上で、帰国後の期間が6年以内の者 <p><外国人生徒> 外国籍を有する者で、中学校卒業又は卒業見込み、かつ、原則として、入国後の在日期間が6年以内の者</p>	<p>連携型中学校を令和7年3月に卒業する見込みの者で、次の条件を満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> (7) 当該学校を志望する動機・理由が明白かつ適切であること (4) 当該学校に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有すること 												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>連携型高等学校名</th> <th>連携型中学校名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立加計高等学校</td> <td>安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校</td> </tr> <tr> <td>県立加計高等学校芸北分校</td> <td>北広島町立芸北中学校</td> </tr> <tr> <td>県立御調高等学校</td> <td>尾道市立御調中学校</td> </tr> <tr> <td>県立油木高等学校</td> <td>神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校</td> </tr> <tr> <td>県立賀茂北高等学校</td> <td>東広島市立豊栄中学校</td> </tr> </tbody> </table>	連携型高等学校名	連携型中学校名	県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校	県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校	県立御調高等学校	尾道市立御調中学校	県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校	県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校
連携型高等学校名	連携型中学校名													
県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校													
県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校													
県立御調高等学校	尾道市立御調中学校													
県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校													
県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校													

入学者選抜実施内容シートの見方

<例>

一次選抜

●●高等学校 ●●●課程 ●●学科 [] コース

1	教育目標											
	育てたい生徒像											
	入学者受入方針											
2	項目	内 容										
	入学定員	240 人										
3	枠	① 特色枠					② 一般枠					
	割合 (人数)	20% (48 人)					80% (192 人)					
4	配点の比重	一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 = 4 : 4 : 2 : 2 (400 : 400 : 200 : 200)					一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 = 6 : 2 : 2 : 1 (600 : 200 : 200 : 100)					
		一般学力検査										
5	実施内容	一般学力検査 <input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 英語										
		配点	450 点 → 400 点に換算					250 点 → 600 点に換算				
6	<input type="checkbox"/> 標準 <input checked="" type="checkbox"/> 傾斜配点・活用教科の設定あり 国語 社会 数学 理科 英語 計 50 50 150 150 50 450					<input checked="" type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> 傾斜配点の設定あり 国語 社会 数学 理科 英語 計 50 50 50 50 50 250						
	調査書											
	7	配点	325 点 → 400 点に換算					225 点 → 200 点に換算				
<input type="checkbox"/> 標準 <input checked="" type="checkbox"/> 傾斜配点・活用教科の設定あり 国 社 数 理 音 美 舞 技 外 計 25 25 75 75 25 25 25 25 25 325					※ 標準のみ 国 社 数 理 音 美 舞 技 外 計 25 25 25 25 25 25 25 25 25 225							
8	自己表現											
	配点	30 点 → 200 点に換算					30 点 → 200 点に換算					
9	学校独自検査											
	実施内容	・小論文 [60 分] ・一般学力検査に加えて、数学の自校作成問題による学力検査 [20 分]										
		配点	100 点 → 200 点に換算					50 点 → 100 点に換算				
面接 作文 小論文 実技 学力 その他 計 50 50 100					面接 作文 小論文 実技 学力 その他 計 50 50							
10	特記事項											
	学校独自提出書類	・入寮希望調査票 [調査書に添付して提出すること。]										
	その他	普通科 [●●] コースを第2志望とすることを認める。										

次の内容は「一次選抜」の入学者選抜実施内容シートの見方についてまとめたものです。
「二次選抜」、「連携型選抜」及び「通信制の課程の選抜」についても、この見方に準じます。

1 「教育目標」「育てたい生徒像」「入学者受入方針」

- 「教育目標」とは、その高等学校や学科・コースで、どのような教育活動を行っていくのかを示したものです。
- 「育てたい生徒像」とは、その高等学校や学科・コースでの生活や教育活動を通じて、どのような生徒に育てたいのかを示したものです。
- 「入学者受入方針」とは、「教育目標」や「育てたい生徒像」を踏まえて、入学時に期待される生徒像を示したものです。

2 入学定員

入学できる人数を示したものです。一次選抜の定員は「入学定員」と同じです。

ただし、秋季入学のための選抜を実施する学校（広島市立広島みらい創生高等学校を除く。）にあっては、入学定員から秋季入学のための選抜の定員を除いた人数、連携型高等学校にあっては、入学定員から連携型中高一貫教育に関する選抜の合格者数を除いた人数、併設型高等学校にあっては、入学定員から併設型中学校からの入学予定者の数を除いた人数が一次選抜の定員となります。

3 「特色枠による選抜」「一般枠による選抜」及びその割合

- 「特色枠による選抜」を実施する学科・コースにあっては、「特色枠による選抜」により合格者を決定した後、「特色枠による選抜」で合格者とならなかった全ての受検者から、「一般枠による選抜」により合格者を決定します。
なお、「特色枠による選抜」と「一般枠による選抜」はどちらか一方を選んで出願するものではありません。
- 「割合(%)」の欄の数字は、入学定員に対する割合を示しています。
- 「特色枠による選抜」を実施しない学校又は学科については、「特色枠による選抜」の欄が全て空白になっています。

4 配点の比重

- 「特色枠による選抜」の学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点の比重は、各高等学校において定めます。
この例では、学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重が4：4：2となっています。これは、学力検査、調査書及び自己表現の合計を10割として、学力検査と調査書の配点をそれぞれ4割、自己表現の配点を2割で計算し直すことを意味しています。
なお、学校独自検査をする高等学校では、その配点の比重も記載します。
また、()に記載されている数値は、学力検査、調査書及び自己表現の合計を1,000点満点とした配点です。この例では、学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点をそれぞれ、400点、400点、200点、200点に換算します。
- 「一般枠による選抜」の学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は、全ての高等学校において、6：2：2となっています。

5 学力検査の実施内容

原則として、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科^{※1}の一般学力検査を実施します。一般学力検査に替えて自校作成問題により学力検査を実施する高等学校では、「一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査」にチェック（）が入ります。

※1 併設型高等学校においては、国語、数学、英語の自校作成問題による学力検査を実施します。また、併設型高等学校によっては、社会及び理科の一般学力検査を加えて実施する場合があります。

6 学力検査の配点

一般学力検査の配点は、各教科50点満点です。^{※2}
高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は配点を3倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ150点満点となります。

※2 併設型高等学校における自校作成問題による学力検査の配点は、各高等学校が定めます。

7 調査書の配点

調査書の配点は、第1学年及び第2学年については、学習の記録（評定）がそのまま記載され、第3学年については、学習の記録（評定）を3倍して記載されます。各教科25点満点（5+5+15）となり、9教科の合計は225点満点となります。

高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は得点を3倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ75点満点となります。

8 自己表現の配点

自己表現の配点は、検査官一人当たり15点満点で、学校があらかじめ定める自己表現の検査官の人数（2～3人）に応じて定められます。この例では、検査官2名で30点満点となっています。

9 学校独自検査

学科・コースによっては、特色に応じて実技検査や作文などの学校独自検査を実施する場合があります。

実施内容については、検査時間も記載しています。なお、面接の時間については、目安の時間となります。

この例のように、「特色枠による選抜」にのみ配点が記載されている実施内容についても、原則として全員が受検します。

10 特記事項

- 学科・コースによっては、この例のように、入寮希望調査票などの学校独自の提出書類があります。
- 学科・コースによっては、併願が可能な場合があります。この例の学科を第1志望とする場合、普通科〔●●〕コースを第2志望とすることができます。
そのほかにも、全国募集を実施する高等学校、技能連携を実施する学科、くくり募集を実施する学科については、「その他」に記載があります。